

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	N.I	学部・学科	国際教養学部
学年	5年	派遣国	アイルランド
派遣大学	グリフィス大学		
期間	2022年 9月 1日～ 2023年 6月 30日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (10万) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (30) 秒 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	4万円	
学用品購入費	1000円	ノート (初期費用)
交通費	1500円	バス、時々電車
交際費	1万円	ランチ、カフェ
その他	3万円	日用品、洋服、旅行など
合計	8万円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

海外の中では、比較的治安が良いと思います。
 ダブリンを南北に分けるリフィー川を挟んで、南側は治安が良く、北側は治安が良くないと感じる場所がありました。
 私は特に何もありませんでしたが、友人から夜中に 1 人で歩いて怖い思いをしたという話も聞いたので、22 時以降は 1 人で出歩かない方がいいと思います。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	AIG 保険		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	(268,430) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**ダブリン/Portobello**)

ダブリンは、首都でありながらも、自然が多くて、人が温かい、コンパクトな街です。
 アイルランドは他国からの移民も増えており、先進国ではありますが、人口が増え続けています。実際、ダブリンにも世界中から学生や多くの外国人が生活しているため、マイノリティであると感じることは少なかったです。

また、私が住んでいた Portobello からシティセンターまでは、徒歩 20 分の好立地です。
 スーパーや薬局が多く、食料品の買い物には困りませんでした。
 ただ、基本的に物価が高いため、安い食料品を買うためにシティセンターの方へ行くこともありました。

天候に関しては、あまり良いとは言えません。1 年を通して、雨・曇りが多く、急な天候の変化が多いです。特に冬は、常に曇り空で、冬至は日没が 15 時半ほどです。反対に、サマータイム(3 月末～10 月末)は 22 時半でも明るい時があり、過ごしやすい日も多いです。

【学業編】

1. 大学情報

大学	グリフィス大学	所在地	South Circular Road, Dublin, Ireland
最寄空港	ダブリン空港	空港からの距離	1 時間
空港⇄大学	(バス 1 6 番) *移動手段		
学生数	Over 7000 人	留学生数	学生の 80%
学部	Apprenticeships Business Courses Business Computing Counselling & Psychotherapy Creative Arts and Screen Media Design Engineering Graduate Business School Griffith Institute of Language Griffith Professional Accountancy Journalism & Media Communications Law Lifelong Learning Music and Multimedia Pharmaceutical Science Professional Law <p style="text-align: right;">*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。</p>		
学部/専攻	Creative Arts and Screen Media/Photographic Media BA Journalism & Media Communications/ Communications BA <p style="text-align: right;">*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。</p>		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Photography2				
午後		Photography1	1.Visual Communication	2.Visual Communication	

② (2)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	History and Art of Photography			1.Commercial Photography	
午後				2.Commercial Photography	

3. 履修内容

科目	Photography1		
履修期間	9-12 月	単位数	5
授業内容／形態	<p>内容：カメラの基本操作の仕方、有名な写真家の作品、Adobe Photoshop の使い方などを学ぶ。</p> <p>実際にカメラでの撮影や作品の制作も行う。</p> <p>形態：レクチャー形式、時々ディスカッションやプレゼンテーション、カメラを用いた実技も有</p>		
成績	60.10		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Photography 2		
履修期間	9-12 月	単位数	10
授業内容／形態	<p>内容：カメラの基本操作の仕方、フォトスタジオのセッティング、照明器具の使い方を学ぶ。</p> <p>形態：スタジオや学内での実践的な撮影を通して学ぶ。</p>		
成績	68.00		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Visual Communication		
履修期間	9-12 月	単位数	5
授業内容／形態	<p>内容①：Adobe イラストレーターを用いたロゴ制作、インデザインを用いた Web デザインの構築、作成など。</p> <p>形態①：アプリの操作方法をレクチャー、実践、作成したものを発表するプレゼンテーション</p> <p>内容②：Dublin 8 という地方誌の製作。特集記事の取材、写真撮影、編集を行う。</p> <p>形態②：20 名ほどの生徒主体の授業。6 つほどの班に分かれて活動。</p>		
成績	64.28		

YCU 振替予定	科目	
	単位数	
	担当教員	

科目	History and Art of Photography		
履修期間	2-5 月	単位数	5
授業内容／形態	内容：写真や写真家の歴史について学ぶ。 形式：レクチャー、プレゼンテーション		
成績	62.50		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Commercial Photography		
履修期間	2-5 月	単位数	10
授業内容／形態	内容：商業写真に特化し、業界の特徴や仕事のフロー、撮影について学ぶ。 形態：生徒主体の実技、スタジオや学内での撮影		
成績	65.00		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	I.N	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学 年	4 年	派遣国	アイルランド
派遣大学	グリフィスカレッジ		
期 間	2022 年 9 月 1 日～ 2023 年 6 月 31 日		
プログラム	セメスタープログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Photography 1
講義内容	カメラの基本操作の仕方、有名な写真家の作品、Adobe Photoshop の使い方などを学ぶ。 実際にカメラでの撮影や作品の制作も行う。
科目	Photography2
講義内容	カメラの基本操作の仕方、フォトスタジオのセッティング、照明器具の使い方を学ぶ。
科目	Visual Communication
講義内容	① Adobe イラストレーターを用いたロゴ制作、インデザインを用いた Web デザインの構築、作成など。 ② Dublin 8 という地方誌の製作。特集記事の取材、写真撮影、編集を行う。
科目	History and Art of Photography
講義内容	写真や写真家の歴史について学ぶ。
科目	Commercial Photography
講義内容	内容：商業写真に特化し、業界の特徴や仕事のフロー、撮影について学ぶ。
科目	
講義内容	

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

アイルランドで生活をした 9 カ月は、今までの人生で最も充実しており、多くの学びを得られた時間でした。特に、①コミュニケーションの大切さ、②未経験のことにも挑戦する大切さを学びました。

① コミュニケーションの大切さ

ありきたりではありますが、やはりコミュニケーションが最も大切だと感じました。特に、ルームメイトの間で想像もつかない文化の違いや言語の壁でミスコミュニケーションが起きたことがあります。その際、2人で4時間ほど話し合っ、お互いの国の教育やマナーなど、価値観や文化を形づくる根本から理解し合い、関係を修復することができました。留学前から日本人と異なる多様な文化や価値観を持つ人と関わり、新しい学びを得たいと考えていました。しかし実際には、違いを受け入れることが容易でないこともあり、お互いに歩み寄りの姿勢が重要であることに気づきました。この経験から、言動に対して違和感がある時には、その理由、意図を聞くことや、自分の考えをきちんと伝えることをお互いに意識していました。また、ルームメイトだけでなく、友人との人間関係構築にも役に立ったと考えています。

② 未経験なことへの挑戦

アイルランドでは、写真やアプリを用いたデザインの授業を主に受講していました。留学前までは写真やデザインの経験はなく、やりたいという気持ちだけで挑戦しました。初めは、英語力が乏しかったこともあり、授業についていくことや授業で使うソフトの使い方も分からず、大変なことも多かったですが、友人や教授に助けをもらいながら徐々に覚えていくことができました。未知の世界に飛び込む緊張感はありましたが、新たな発見や楽しさを知ることができ、挑戦した甲斐があったと考えています。

また、恥を捨てて、「分からない」と伝える勇気を持つことの大切さを学びました。分かっているフリを続けていては自分のためにもならず、相手にも失礼であると感じました。

留学生生活を通して、良いことも悪いことも含め、日本ではできない経験がたくさんできました。経験や学んだことを今後の生活にも活かしていきたいです。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

上記の①コミュニケーションの大切さ、②未経験のことにも挑戦する大切さという2つの学びを今後の人生にも活かしていきたいと考えています。

① に関しては、仕事や友人との関係構築に活きていると考えています。就職活動中に、とある企業の方から「社内トラブルの8割は勘違いやコミュニケーション不足によって起きている」と聞いたことがあります。今後社会人として多様な年代、価値観を持つ人と働くこととなりますが、何か違和感がある時には自主的に質問を投げることで円滑な人間関係を構築していきたいです。

② に関しては、2つ新しいことに挑戦したいと思っています。

・シェアハウスでの交流を通して、海外の人に日本の良さを伝える。

留学前は向いていないと思っていたシェアハウスでしたが、ルームメイトのおかげで充実した留学生活を送ることができたと考えています。それと同時に、留学中は英語も拙く、与えてもらうことの方が多かったと考えており、次は自分が与える側として海外の方と関わってみたいという思いから、帰国後も外国人の住むシェアハウスで生活を始めました。

・写真を使った仕事をする

まずは、学生の間アルバイトとして写真に携われる仕事をしたいと考えています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

既に留学を決めた方だけでなく、まだ留学をするか迷っている方もいるかと思います。

私の場合は、コロナ禍の留学だったため特例かもしれませんが、大学の卒業を1年延ばし、4年次の9月から1年間の留学をしました。初めは、友人より1年遅れることや、現地からの就職活動に対して不安もありましたが、私はデメリットより、メリットの方が大きかったと思っています。帰国して日本で生活をする中でも、留学前と考え方が変わった、今までしてこなかったようなことにも挑戦し、決断ができる事が増えたと感じています。同じように、留学か就活かなどで迷っている方がいたら、今自分が一番やりたいことを優先して、思い切ってやってみて欲しいと思います。しかし、留学が自分の人生を変えてくれるわけではないので、受け身な姿勢ではなく、留学中に成し遂げたいことや目標を考えることや、留学前から計画的に英語学習に取り組むことで、留学がより充実したものになると思います。皆さんが悔いのない留学生活を送れることを祈っています。